

不適合情報

2018年9月28日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	2号機	タービン補機冷却海水系ポンプ(C)の点検時、シャフトの振れが管理値を超えていることを確認した。当該ポンプを予備機と交換し点検・修理。	
2	2号機	制御棒駆動系水圧制御ユニット充填水止め弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
3	6号機	換気空調補機常用冷却水系(C)冷媒凝縮温度計の指示が低い値を示すことを確認した。当該計器を点検・修理。	
4	その他	タンクローリ(407号車)の安全弁点検が北海道電力への支援派遣(北海道胆振東部地震対応)により実施出来ないことを確認した。当該タンクローリの派遣完了まで点検期限を延長し、帰所後速やかに点検を実施。	